

令和7年度全国社会就労センター総合研究大会(大阪大会)
第1分科会〔生保・社会事業部会〕 企画について

1. テーマ

厚生労働省と考える～これからの生活保護授産施設と社会事業授産施設～

2. 内容

- 生活保護授産施設は昭和22年、社会事業授産施設は昭和13年にそれぞれ設立された歴史ある事業です。令和5年10月1日現在の施設数は、生活保護授産施設は13施設、社会事業授産施設は60施設となっています。
- 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスや生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者支援の充実によって、生活保護授産施設・社会事業授産施設を取り巻く環境は大きく変わっています。しかし、生活保護受給率が増加する中で、両施設が果たすべき役割は依然として大きいと考えられます。
- 本分科会では、厚生労働省 社会・援護局 保護課をお招きし、生活保護授産施設と社会事業授産施設の必要性を考えるとともに、これからの在り方を検討する機会とします。

3. 分科会の内容

● 講義＋実践の共有＋意見交換

14:50～14:55(5分)	導入
14:55～15:40(45分)	講義 厚生労働省社会・援護局 保護課 保護事業室
15:40～16:10(30分)	実践の共有(1) ※1施設15分
	実践の共有① (福)名古屋厚生会 名古屋厚生会館クリーニングセンター
	実践の共有② (福)福島縫製福祉センター 福島縫製福祉センター
16:10～16:20(10分)	休憩
16:20～16:50(30分)	実践の共有(2) ※1施設15分
	実践の共有③ (福)芦別白光舎 芦別白光舎
	実践の共有④ (福)熊本市社会福祉協会 熊本授産場
16:50～17:35(45分)	意見交換 ※全体
17:35～17:40(5分)	まとめ

令和7年度全国社会就労センター総合研究大会(大阪大会)
第4分科会〔就労移行支援事業部会〕 企画について

1. テーマ

就労移行支援事業所の未来～専門的な支援を必要とする全ての就労困難者へ～

2. 内容

- 精神障害者の利用増により就労移行支援事業所の利用者数は微増傾向にあります。その一方で、就労移行支援事業所数は平成29年度をピークに減少傾向にあり、特に人口の少ない地域でその傾向は顕著であり、経営が困難な就労移行支援事業所も存在します。
- 本分科会では、就労移行支援事業の本質的な意義を“就労困難性を抱える方への就労支援”と位置づけ、現行の主な利用対象である“障害のある方”や“難病を抱える方”等に加え、生活困窮者やLGBTQ、ひきこもり等の多様な“就労困難性を抱える方”と就労移行支援事業の専門性との親和性を確認します。
- 以上を前提とし、「ダイバーシティ就労」を学ぶとともに、異なる“就労困難性”を抱える方への就労支援の実践を学び、我々の専門性を振り返り、“就労移行支援事業所の未来”を考える機会とします。

3. 分科会の内容

● 講義＋実践報告＋学びのシェア

14:50～14:55(5分)	導入
14:55～15:55(60分)	セッション1:講義 「ダイバーシティ就労とは ～多様な就労困難者の就労実現に向けて～」 ダイバーシティ就労支援機構 理事長 村木 太郎 氏
15:55～16:10(15分)	休憩
16:10～17:10(60分)	セッション2:実践報告 ※1事例30分 実践報告①「生活困窮者」 (福)キリスト者奉仕会 障害者就労・自立支援センターたんぽぽ 実践報告②「LGBTQ」 認定特定非営利活動法人 ReBit
17:10～17:40(30分)	セッション3:振り返り 学びのシェアタイム まとめ

令和7年度全国社会就労センター総合研究大会(大阪大会)
第5分科会〔生産活動・生活介護事業部会〕 企画について

1. テーマ

変わる生活介護～変わらないものと変えていくもの～

2. 内容

- これまで生活介護事業では、“多様な利用者”を支援するために、生産活動をはじめとする“多様な取り組み”を進めてきました。これはひとえに生活介護事業の利用者の可能性を広げるための取り組みと言えます。
- 昨今、生活介護事業所では、高齢化・重度化の進展に伴い、従来の発想を大きく見直さなければならない事態に直面しています。
- 本分科会では、“変わる生活介護”をキーワードに、これからの生活介護が“何を”、“どのように”変えていくのかを考えるとともに、改めて“変わらないもの”を確認するために実施します。

3. 分科会の内容

● 実践報告+グループディスカッション

14:50～14:55(5分)	導入
14:55～15:45(50分)	セッション1 課題の共有
14:55～15:15(20分)	実践報告① ※1施設10分 (福)みぬま福祉会 工房集 (福)コスモス 堺東部障害者作業所
15:15～15:45(30分)	グループディスカッション①
15:45～16:00(15分)	休憩
16:00～17:30(90分)	セッション2 具体的な取り組み
16:00～16:40(40分)	実践報告② ※1施設20分 (福)みぬま福祉会 工房集 (福)コスモス 堺東部障害者作業所
16:40～17:30(50分)	グループディスカッション②
17:30～17:40(10分)	まとめ